

イエローミニトマト

蒔く時期 : 3月~4月

収穫時期 : 7月~12月

特徴

イエローミニトマトは貴重なエアルーム種で、フルーティーな甘酸っぱいミニトマトです。キッチンガーデンからプランター栽培、家庭菜園に向けた誰でも簡単に栽培できる人気種です。

育て方

【用土】

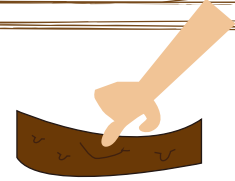
● 培養土に早めに苦土石灰を入れておきます。(苦土石灰が入っていない培養土の場合) トマトの専用用土ならそのまま植え付けができます。
トマトなどの果菜類はチッソ分の多い油かすより、リン酸を多く含む骨粉を少々多めにすると実なりがよくなります。



【植え付け】

生育温度 (最適) 26℃~30℃程度

- 1 植え付けの容器は菜園プランターで、深さがあるものがおすすめです。
- 2 9号~15リットルぐらいはいる容器なら適量になります。
- 3 横長プランターの場合は2本、鉢なら1本植えます。

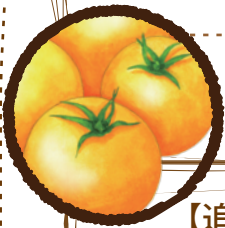


【置き場所】

● 日当たり、風通しの良い場所が最適です。風通しの良い場所は病気予防になります。

【水やり】

● 土が乾いてきたらやるのが基本で、成長するにしたがって量を多くします。
乾燥ぎみに育てると小粒になりますが、凝縮されたおいしいミニトマトができます。



【追肥】

● 植え付け時には肥料は少なめか全く施しません。
トマトは最初から肥料(特に窒素分)を施すと茎葉ばかり茂ります。
葉の勢いが良すぎると花付きが悪くなり、実も少なくなります。
ミニトマトは1段目のトマトが大きく育ってから追肥をはじめます。
1ヶ月に1回が目安。果菜用の肥料をトマトの様子を見て適量施します。
トマトは生育期間が長いので、肥料を切らさないことです。

病害虫

モザイク病
条班病
黄化エン病
アブラムシ
ハムシ

【支柱が必要なミニトマトの場合】

● わき芽が出てくるのを摘み、一本仕立てにして支柱を立てます。
収穫したトマトの下の葉は摘み取って、風通しをよくします。
鉢に沿ってくるりと巻く方法でも長い支柱を立ててもお好みで。